様式２

# 推薦調書（実装部門）

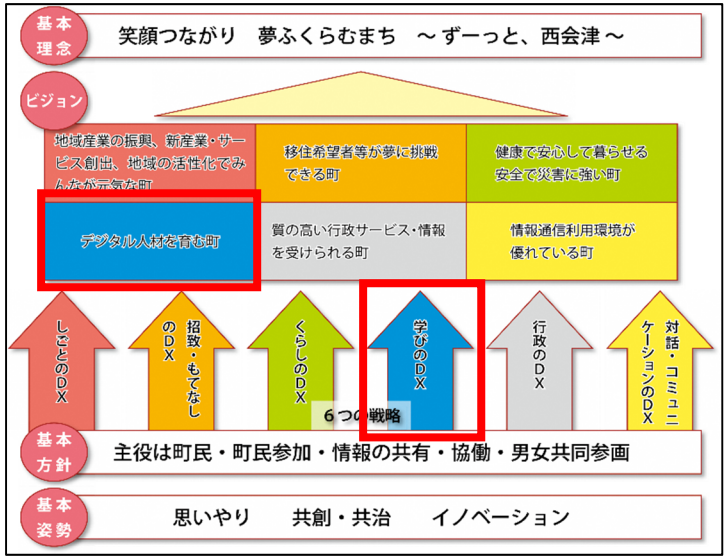
<table>
<tr><td>表彰区分</td><td colspan="2">町・村</td><td>推薦都道府県</td><td>福島県</td></tr>
<tr><td>地方公共団体名</td><td colspan="4">西会津町</td></tr>
<tr><td>取組名称</td><td colspan="4">デジタル教室等によるデジタルデバイド対策</td></tr>
<tr><td>連携自治体、企業、団体等</td><td colspan="4">（株）ＮＴＴドコモ、（株）エヌ・エス・シー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）</td><td>（種類）</td><td>②</td><td>（左記が①の場合の分野）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">【デジタルを活用した取組の全体概要】<br>○西会津町では、令和３年３月に「西会津町デジタル戦略」を策定した。戦略に基づくDX（デジタル・トランスフォーメーション）を進めるにあたり、特に高齢者に対するデジタルデバイド対策が必要であることから、下記①～③の取組みを実施している。<br>　実施にあたっては、令和３年５月に、「西会津町デジタル戦略」に基づくまちづくり連携協定を（株）NTTドコモと締結し、同社と連携・協力し事業に取り組んでいる。また（株）エヌ・エス・シーと共催でスマートフォン教室を開催するなど、民間企業との共創によりデジタルデバイド対策に取り組んでいる。<br>①西会津町ケーブルテレビを活用した「デジタルに関する特別番組」の制作・放映<br>②主に高齢者を対象とした、自治区に出向いての「デジタル教室」の開催<br>③デジタルをはじめ、どんなことでも相談ができる「デジタルよろず相談室」の開設・実施<br><br>【実施に至る経緯・動機】<br>○西会津町では「西会津町デジタル戦略」を策定し、デジタル技術の活用によるあらゆる分野におけるデジタル変革（DX）を進めることとしている。DXを進めるにあたり、特に高齢者の事業や取組みの理解と、デジタルデバイド対策が必要であることから、デジタル教室の開催やよろず相談室を開設することとした。<br><br>【解決する課題の具体的内容】<br>○西会津町には、大型電気店や携帯電話の販売店舗などが無く、最も近い店舗まで車で30分程度かかることから、高齢者がデジタル機器に触れる機会が少なく、困った時に気軽に相談できる場所が町内に無い現状である。<br>　このため、町ケーブルテレビで特別番組を放送することで、町民がデジタル機器や技術に興味を持つことが期待でき、その後、デジタル教室で実際に機器を体験することで、利点や便利さを知ることができる。<br>　令和3年度は、西会津町主催でのデジタル教室に加え、（株）エヌ・エス・シーと連携しスマートフォン教室を開催した。教室参加後、実際にスマートフォンやタブレットを購入した方もいる。<br>　デジタルよろず相談室については、普段の生活で困っていることを気軽に相談でき、例えば、SNSやオンラインショップの利用、テレビ電話で家族と話すなどといったスマートフォンの設定や使い方など、町民誰もがデジタル技術を有効に活用できるよう支援を行っている。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値） | （令和 4 年 5 月 20 日現在）<br>デジタル教室参加者数<br>町主催　令和 3 年 8 月から自治区等の希望により 12 回開催、延べ 124 名参加。<br>企業と町の共催　令和 3 年 10 月～11 月に 8 回開催、延べ 46 名参加。<br><br>デジタルよろず相談室<br>令和 3 年 5 月より 46 回開催、延べ 75 名の相談に対応。 |
| 本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点 | 令和 3 年 5 月に「西会津町デジタル戦略」に基づくまちづくり連携協定を締結した（株）NTTドコモとは、様々な分野で連携している。デジタルデバイド対策においては、デジタル教室で使用する機器の選定や、実際の教室の支援員、デジタルよろず相談室の対応等について、支援を頂いている。<br>デジタル教室では、（株）NTTドコモに加えて、（株）エヌ・エス・シーと連携し、デジタル機器やデジタル技術の体験を目的として開催している。教室では、操作方法や専門用語を覚えてもらうことよりも、インターネットやカメラ、地図利用やゲームなどを紹介し、デジタルの便利さや楽しさを体験してもらい、まずはデジタルへの苦手意識を払拭することを重要視している。<br>また、町職員が講師を務め、各自治区の集会所に出向いて行うデジタル教室は、柔軟な日程調整が可能であり、町民の皆さんが集まりやすい地区の集会所で開催することで気軽に参加することができ、参加率の向上につながっている。<br>デジタルよろず相談室は、デジタルに関することのほか、どんなことでも相談できる場所として、町民に非常に好評を得ている。一人ひとりのデジタルに対するスキルや理解度が違い、利用目的も異なっていることから、一般的な教室の形式では全てに対応することが不可能である。このため、デジタルよろず相談室で個別に対応することで、誰一人取り残されずに、デジタル技術の恩恵を享受することができる社会を目指している。 |
| 今後の展望 | 本取組みについては、継続して実施していく計画であり、将来的には、各自治区や地域単位で、「デジタルのことは、この人に聞けば大丈夫」という人材の育成・配置を目標に、持続可能な地域づくりに向けて、現在のデジタル教室を見直しながら、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰一人取り残されない」社会の実現を目指していく。 |

「デジタル教室等によるデジタルデバイド対策」概要図

## 令和３年３月策定　「西会津町デジタル戦略」

体系図




**第4章　4. 学びのDX（1）デジタル教室の開催等**　より抜粋

『特に高齢者がスマートフォンやタブレットなどの機器に触れられる機会を作り、デジタルに対する苦手意識を払拭するとともに、デジタル技術への興味関心を持ってもらう。』

**第5章　戦略の推進　3. デジタルデバイド対策**　より抜粋

『西会津町は高齢化率が高いことから、相談対応をはじめ、特に高齢者のデジタル技術についての理解、利活用を支援するため、関係者が連携した仕組み、体制により取組みを進める。』

連携
(株)NTTドコモ
(株)エヌ・エス・シー

○町ケーブルテレビで特別番組を放送。
○各自治区集会所等でデジタル教室を開催。
デジタル機器・技術への興味関心を高める。

ケーブルテレビ特別番組を制作・放映

自治区集会所でのデジタル教室

○デジタルよろず相談室で、個別の相談・要望に対応。
具体的なデジタル機器の使い方などを支援し、高齢者の利活用を促進。

機器の使い方についての相談

パソコンの不具合への対応